

吟道月報

NO. 17
48.12.5

碩心会

或る席上、吟を通じて日常生活に何か有益になつた事があったら聞かせて下さいと注文致しました。会員のO氏[†]発言して

吟道雑感

師範 加藤 秀 出

私が職場の友達から誘はれて吟界に入門してより満十六年、松井先生始め諸先輩の御指導のもとに今日に至りましたが、年数ばかり経ても、さうばり心、技共に向上しないのには自分ながら恥かしく思つております。

私が碩心会の指導の任に当りましてより八年、此の間にあつて忘れる事が出来ない思い出も数多くありますが、その中の一つを披露させていただきます。

吟道を学ぶ上に於て諸先生方より吟ずる事と共に人格の向上について色々お話しがあつた事を思い出します。私が大船支那の指導の任に當りておりました当時

曰く、私は生来内気な爲大勢の前では自分の思つてい事が何も言えなかつたが、吟の練習日には必ず皆の前で吟じさせられる。吟は下手だが、大勢の前で私も出来るんだと言う自信をだんだん持つてゐるようになった。それから皆の前で自分の意見を堂々と発表出来るようになった。事が、私の吟を通じて人生にプラスになりました。と答えてくれました。私もそれを聞いて深く感銘致しました。

吟はその人々の個性により優劣はつけにくいものです。お互いに吟の向上と共に吟を通じて温かい心のかけ合ひのもとに、おれにもへわたしにも出来るんだと言う自信を持つてゐるよう吟道に精進し、人格向上に心を致すうてはありませんか。

以上

年の瀬を迎へて

師範 沼田 光風

皆々杯には年の瀬を迎へて御多忙の事と存じます、
 充分に御健康に留意なされ元気で年の瀬を乗り越えよ
 うではありませんか、顧みますれば昭和二十九年、年
 の瀬も尙近な十一月横修吟道部に入り、諸先生へ新田
 先生の方の御指導を戴ぎ、其の後昭和三十三年碩心会
 に入会、当時は発定したばかりで少人数でありました
 が、根岸先生の御指導を受け其の後、会員も多数とな
 り、現在では県下で上位の会員数を誇つたことになりまし
 たのも、是、諸先生初め会員の皆々の御蔭と深く感謝
 致している次第です、其の向色々とありました、たと
 えば風邪を引き、声が出ず発声が悪いとか注意を受け
 頭の痛い事数十回、イヤ数百回でした、又、コーヒー
 (茶)を呑吸ぎて声が出無くなるとか、気管になつたリ、
 (イローゼ)風の日も、雨の日も練習と苦勞をかさね
 ました、皆杯もキツト此の杯な体験はした事と思いま

す、此の体験が一步、一步と山頂に前進して居る事と思
 います、私は何時も思つております、吟を続けている限
 り人生の喜びあり、勉強だと思つておりますと同時に人
 の和を以つて楽しく吟道を学びたいと思ひます、
 年の瀬？、

歌の文句にあるように、今年が駄目なら、来年がある
 と、此の意気を持つて新春を迎へ、共に楽しく吟道に邁
 進致しましょう。

一年に思ふこと

師範 井沢朝風

光陰矢の如しと申し今年も早残り少なくなりました、
 皆々杯共々健祥で詩吟愛好者として此の一年間楽しく勉
 強させて戴きました。

私はいつも此の年の瀬に過去を振り返つて見ますが、か
 くも永く(二十四年余)休む事なく、よくも続いたと考へ
 させられます。

これも一つには健康であること、良き指導を得たこと

親切な会長、又なごやかな教場、良き仲間、家達の吟道に対する理解等の条件に恵まれて、私も幸に此の日に至りました。

皆々林も同意の事と存じ新しい年を迎え、益々御発展されることとお祈り申し上げます。

今後は一尺努力し、微力ながら奮起一番御厚志に報いる覚悟であります何卒今後共御支援の程、切にお願ひ申し上げます。

随想

師範 小峰 順風

今年も夢の杯に去ろうとしております。

振り返って想起すれば、色々と山積した行事も会員一同の御協力に依りまして一つく立派な成果を以って終りました。静かに反省しますと、何と申しましても各友部共に吟道が着しく進歩向上し十年送手との、五の差もないまでに接近して来たことです。努力の姿がはつきりと現われるものだと、常々自分にいい聞かせて

居るのです。人間、生を受け一年余ヶ月始めての言葉がウマ／＼の二字であり四字であると思います。自然の音が私達吟者にもっとも必要であると思います。力まず、きどらず常々己は己の声を以って吟じ始めるよう心掛けることです。その為には先づ以って健康でなければなりません。私達仲間々には、これ相当のレクリエーションが必要であり、レクリエーションと言っても、なにもスポーツやハイキングばかりでなく、その人／＼に合った楽しみ、娯楽こそが本当のレクリエーションと思います。

健康な体力を維持するためには、充分睡眠を取ることで体調を整えるには同時に気持ちの持ち方も大切であると思われ、よく言われることです。常に健康で有りたいと思つのが私の願いであります。丈夫であつてこそ楽しく朗詠も出来、毎日が過せるのではないでしようか、自分の体は自分が管理して明るく楽しく生き度いものです。

会員皆杯の健康を祈ります。

県本部関係

県本部理事會並に納金は十一月二十四日(土)平塚市農業會館で開催。才二十九回吟道大会の報告、各郡報告を終り、地区代表吟を以つて盛會裡に終了した。

未年度行年次の通り

初吟会 四十九年一月二十七日 富士會文協和會館

才二回青少年吟道大会 四月中旬(横浜地区)

県本部二十周年吟道大会 八月下旬(九月中旬に横浜須賀地区にて開催予定)

頌心会本部関係

◎ 本年一年間の多彩な吟道行年を滞りなく終えた事、感謝いたします。残るは各支部毎の納金会です。納金の日取り次の通り

十二月六日(木)戸塚支部

十二月七日(金)大船支部茅ヶ崎教場

十二月九日(日)大船支部戸塚支部合同納金

十二月十日(月)一色支部

十二月十一日(火)下山口支部

十二月十二日(水)山の根支部

十二月十四日(金)紫舟支部、銀詠支部

十二月十六日(日)堀内支部

十二月十七日(月)長柄支部

十二月十八日(火)沼田支部

十二月二十日(木)桜山支部、逗子支部

十二月二十一日(金)建設支部

◎、初吟会は、逗子市の京急ビーチ・センター(京急行海の家)で一月十三日(日)十二時より四時半まで行います。会費千五百円、なるべく多数の参加を希望いたします。

◎ 会員名簿を各自に配布しました。誤字、脱字、番地番号等の間違い追加は、各支部毎に取りまじり、一月

中に総務まで報告して下さい。

新加入会員

306	田村 実	富士見支部	葉山町下山口、一六九	電〇四六八	(75)	五四七二
307	横山和夫	戸塚 支部	戸塚区新橋一〇九一の一	電〇四四五	(811)	三三〇六

総務雑感

千葉 剣 風

本部総務会計担当を仰せつかって約半年になりました。繁忙な日常の生活の合間に、どうやらこの御世話をしていただきありがとうございます。かつての少数のメンバーと違ってこれだけの大世帯になると、やはりいろいろのことがあるものですね。

まだまだ大変な御仕事の方は会長自身が負っておられますが、よくもまあこれだけの仕事を殆んど一人でやっておられたものだと感心したり、その努力ぶりに驚いたりという状況でした。

一寸例をあけてみても会員の動向の把握、入内から

現状までの詳細な一覧の作成、冷道誌、教本の購入、配本、発注の繰返し、月報の原稿のとりまとめ、印刷配布許証関係準備から交付にいたる一切のこと、県本部関係事務、本部総務会計処理、各支部との連絡、諸注文のとりまとめ、配布、その他、E、T、C、小生この中少しは補助的に処理させて頂いておるわけですが、今回は苦情を少しばかり書いて下さい。

それは、こうした事務処理で何と言っても一番困ってしまうのは、すべて期日に迫られているということです。本部としては、その上部からの催促があつても、まともでないことにはどうしようもなく、その都度申しわけを言つてあるということになります。

各支部長さんには御忙がしいところ、色々お願いして

おりますが、会員の皆さんの絶大な協力がなければ、
どうしようもないということでしょう。どうぞ月報を
隔々まで読んで頂き、本節事務のスムーズな処理に御
協力下さるようお願いいたします。

約束のごである期日の厳守これは大きく発展した碩
心会の今後の運営に一番大切なことだろうと思えます
よろしくお願いたします。

一)のよかりし一年を

振り返って思う

会長 三井雲 出

碩心会の飛躍的な発展をこぼたこの一年は、まさに
吟に明け吟に暮れた感じがいたします。岳風流統を正し
て受け継いだこの碩心会が再建十六年にして十六支部
二十三支部を持つ三〇〇名の会となり名実共に神奈川県
県本節オ三位の中堅の会となったことは、ご同慶に感
えません。和やかに然かも一糸乱れず面結した姿に昏

栄々々幸せを感じるものであります。旅行された数々の
行善どの一つさとして見ても羨し、然かも碩心会の弊
困気さかもし出して居ます。各員の精進交友のつながり
が生んだ結果に外なりません。この和と、この清徳を基
礎として来るべき二年に更に吟の向上吟道の発展に一段
の努力を誓いたいものであります。申すまでもなく各員
の健康とこの環境造りがあつてのことです。

皆林御一家の多幸と御健康を祈つて、よき新春を迎え
られんことを願いたします。

どうぞ よいお年を!!